



イーミックス

E - MIX サーモスタットシリーズ

サーモ混合栓……………K280D

(寒冷地用・K280DK)

サーモ混合栓(先止)……………K2800-1

(寒冷地用・K2800K-1)

サーモワンホール混合栓(先止)……………K8800V-1

(寒冷地用・K8800K-1)

施工・取扱説明書

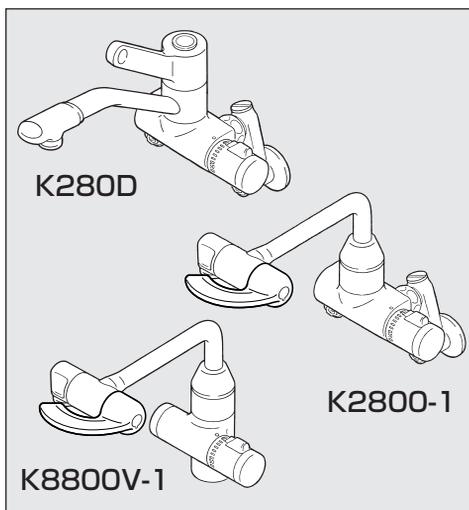
施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書と保証書をお客様へお渡しください。手渡しできない場合は器具に掛けておいてください。

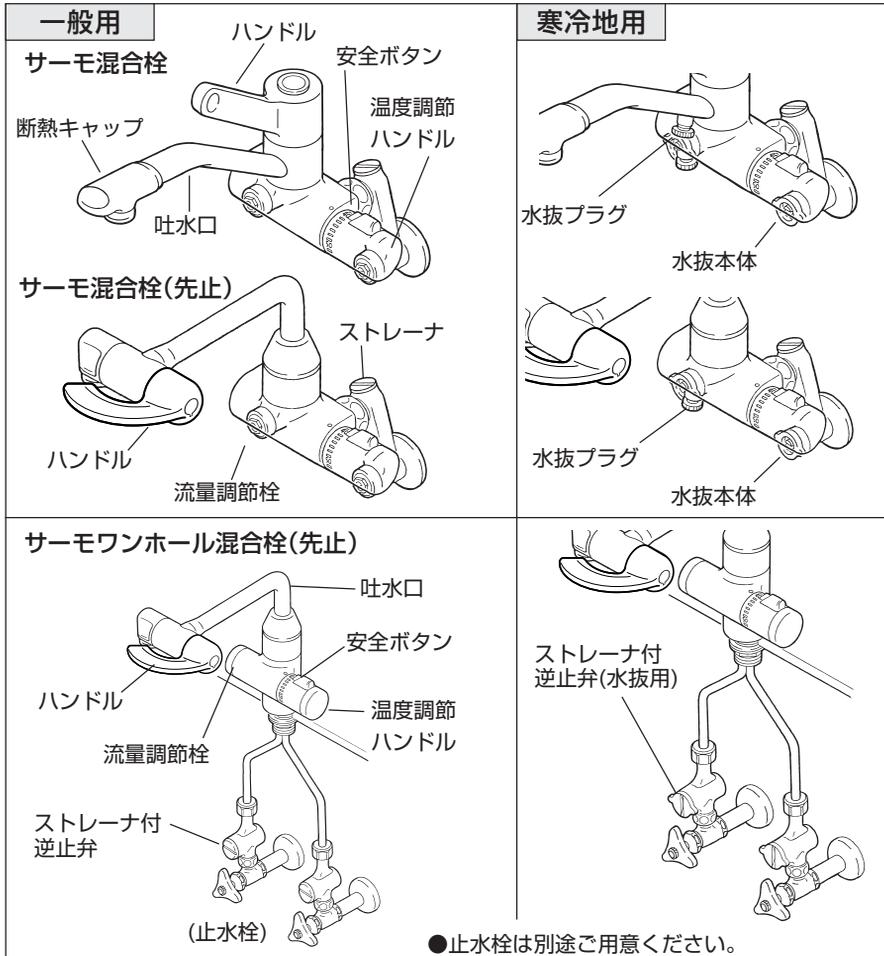


目次	各部の名称……………1	— ご使用について —	お手入れ……………11
	安全上のご注意……………2～3	温度調節方法……………8	ストレーナ・吐水口の掃除……………11～12
	— 施工について —	使用方法……………8	故障? その前に……………12
	適切な使用条件……………4	サーモ混合栓(先止)について……………9	分解図……………13～14
	施工上のご注意……………5	器具の温度調整方法……………9	
	器具の取付け……………5～8	寒冷地用の水抜方法……………10	

サーモスタット混合栓について

- 本器具は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。
- 使用中に給水・給湯圧力が変化しても混合水の温度はほとんど変わりません。
- 温度調節ハンドルで、好みの温度に変えられます。
なお、安全ボタン付ですので、誤って熱湯を出す事はありません。
- 流量調節栓、ストレーナを設けていますので、掃除、点検が容易に行えます。

各部の名称



●止水栓は別途ご用意ください。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

用語および記号の説明

- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意하십시오！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません！」
-  …………… 「指示通りに하십시오！」（一般的な行動指示記号です。）

〈施工上の注意事項〉

注意



湯水を逆に配管しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

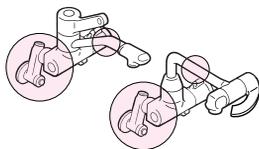
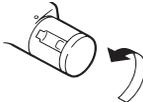
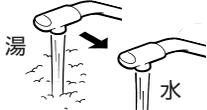
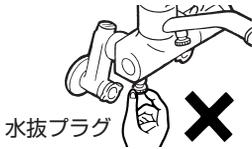
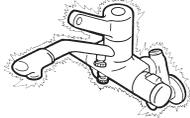
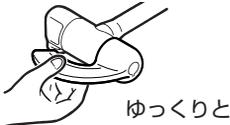


（寒冷地用の場合）
凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結が予想される地域は寒冷地用の器具を選定してください。
（参照:寒冷地用の水抜方法）



給湯に蒸気を使用しないでください。
器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

〈使用上の注意事項〉

⚠ 注意		
	<ul style="list-style-type: none"> ●器具の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。 ●高温の湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。 	
	使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。次に使用すると、いきなり高温の湯を浴びやけどをするおそれがあります。	
	高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	
	温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	
	温度調節ハンドルを急にまわすと、温度が急上昇する事がありますのでハンドルはゆっくりまわしてください。やけどをするおそれがあります。	
	(寒冷地用の場合) 水抜プラグは水抜き以外の目的で開けないでください。水抜プラグをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどしたり、湯水が吹出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。(参照:寒冷地用の水抜方法)	
	(寒冷地用の場合) 凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。(参照:寒冷地用の水抜方法)	
	ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こす事がありますので、ゆっくり操作してください。漏水で家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

施工について

適切な使用条件

(1) 貯湯式給湯器・中央給湯式の場合の必要な給水・給湯圧力

条 件	
●給水・給湯圧力	0.05MPa {0.5 kgf/cm ² } ~ 0.59MPa {6.0 kgf/cm ² } 給水圧力が0.29MPa {3.0 kgf/cm ² } 以上は流量調節栓の調整が必要です。 0.59MPa {6.0 kgf/cm ² } を超える場合は減圧弁、または減圧偏心管を使用してください。
●給水圧力≧給湯圧力にしてください。	なお、給湯圧力が0.098MPa {1.0 kgf/cm ² } 未満の場合は 給湯圧力 + 0.147MPa {1.5 kgf/cm ² } 0.098MPa {1.0 kgf/cm ² } 以上の場合は 給湯圧力 + 0.196MPa {2.0 kgf/cm ² } 以内にしてください。
●給湯温度は使用温度より10℃以上高くしてください。	
●ハンドルは全開にしてください。	

(2) ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入口における最低必要圧力

設定条件

- 水温：25℃
- ガス瞬間式給湯器の調節ハンドル：高温
- 吐水温度：42℃
- ハンドルは全開

(P = 給湯器の最低作動水圧 MPa {kgf/cm²})

ガ ス 瞬 間 式 給 湯 器			
従 来 タイ プ			比 例 制 御 タイ プ
8 号	10 号	12 号	16 号
P+0.06 {0.6}	P+0.08 {0.8}	P+0.098 {1.0}	P+0.08 {0.8}

- 給水圧力は流動時の水圧を示します。
- 給湯能力8・10号では、冬季での快適流量が得る事ができませんので、ご注意ください。

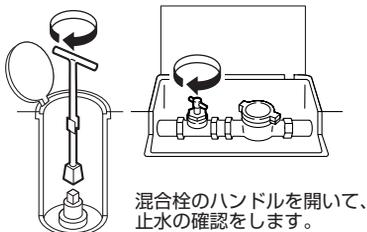
施工上のご注意

- 配管内の掃除 …………… 取付前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流してください。
- 給水・給湯配管の確認…………… 通常の配管は左側が湯、右側が水です。
(逆配管は使用できません。壁付混合栓の場合は別売の逆配管アダプターを使用するか、水道業者に配管工事を依頼する必要があります。)
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 給湯には蒸気を使用しないでください。
- ガス瞬間式給湯器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。
- ワンホール混合栓の場合、取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。

器具の取付け

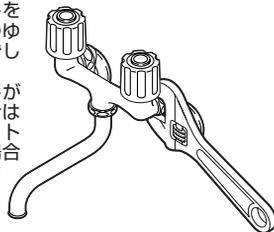
サーモ混合栓 / サーマ混合栓(先止)

1 止水栓を閉めます。

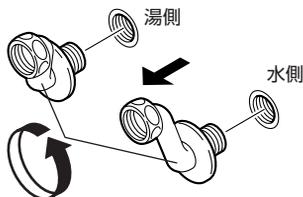


2 古い混合栓の本体をはずします。

偏心管のナットを交互に少しずつゆるめて取りはずします。偏心管にナットが付いている場合は右、本体にナットが付いている場合は左にまわします。

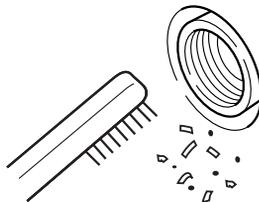


3 古い偏心管をはずします。



湯側、水側とも左にまわしてはずします。
(注) 偏心管は必ず取替えてください。

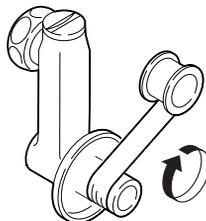
4 配管内の掃除をします。



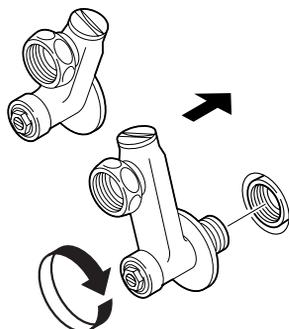
配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除きます。

5 新しい偏心管にシールテープを巻きます。

ネジに向かって右向きに、5回程度少し引張りながら、ネジにくい込むように巻きます。

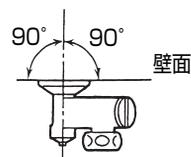


6 偏心管を取付けます。



左右のナットが水平になるように注意して取付けます。

本体の取付部とナットの位置が合うように取付けてください。

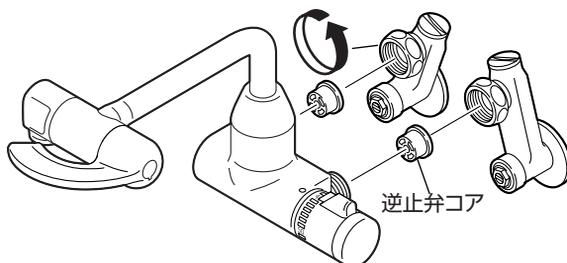


壁面に対して平行になるよう取付けてください。



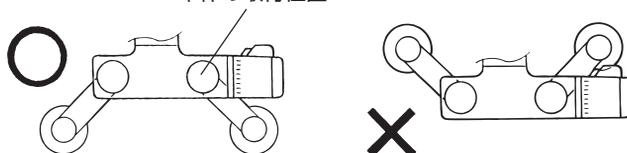
7 本体を取付けます。

本体と偏心管の間に逆止弁コアが入っている事を確認し、左右のナットを同じ割合で少しずつ締付けます。



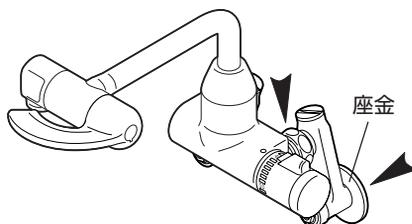
本体の取付位置が偏心管よりも上になるよう取付けてください。

本体の取付位置



8 止水栓を開いて水もれをチェックします。

接続後、各部に水もれがないか必ず確認してください。水もれがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。最後に座金を壁面に締付けて完了です。



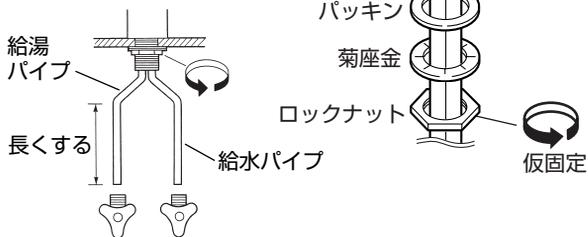
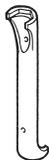
サーモワンホール混合栓 (先止)

1 本体の仮固定

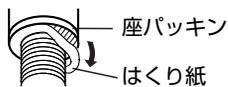
本体が正面を向くように仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓などの取出し芯に合うように曲げてください。

(注) 抜け防止のため、立ち上がり部分を長くしてください。なお、給水・給湯パイプがつぶれないよう作業してください。

工具(別売)
ナット締付工具



(注) 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、本体をカウンターに押しつけて固定してください。

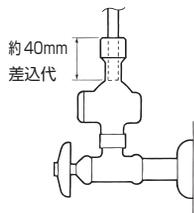


2 給水・給湯パイプの仮固定

逆止弁を止水栓などに仮固定して、給水・給湯パイプの差込代の確保を行ってください。

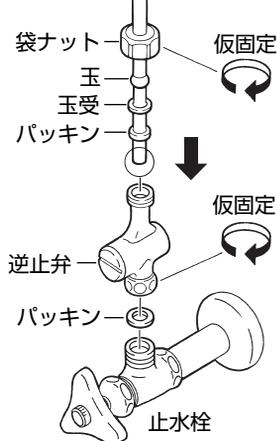
差込代の余った部分を切断し確保できたら、給水・給湯パイプを逆止弁に仮固定してください。

給水・給湯パイプの差込代



●パイプの切断にはパイプカッターをご利用ください。

給水・給湯パイプ



(注) ●部品の順番をまちがえないでください。
●給水・給湯配管の固定は確実に行ってください。
給水・給湯配管の固定が不完全な状態で、給水・給湯パイプを接続するとはずれるおそれがあります。

3 各部の本固定

本体を確実に本固定してから、給水・給湯パイプを逆止弁に確実に本固定してください。

点検……………施工完了後、止水栓を開け通水し、作動および各接合部の水もれ点検をしてください。

(注)40℃でない場合は吐水温度の調整が必要です。(参照:P9 器具の温度調整方法)

ご使用について

温度調節方法

温度調節ハンドルをまわす事によって温度を変えられます。

温度調節

目盛を赤ポイントに合わせて好みの温度でご使用ください。数字は目安としてご使用ください。



高温の使用

40℃以上にしたい時は安全ボタンを押してまわしてください。

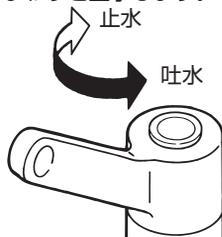


(注) 熱湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを40以下に戻しておいてください。

使用方法

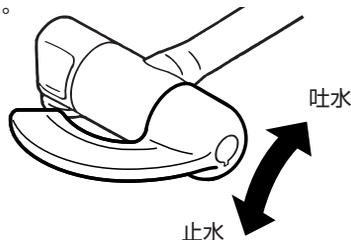
サーモ混合栓の吐水・止水

ハンドルを左へまわすと吐水し、右へまわすと止水します。



サーモ混合栓(先止)の吐水・止水

ハンドルを後へまわすと吐水し、手前へまわすと止水します。



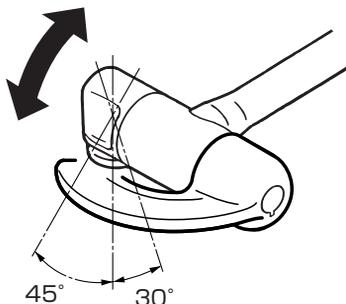
(注) ガス瞬間式給湯器の場合

ハンドルは全開でご使用ください。給湯器が着火しない場合があります。

サーモ混合栓(先止)について

対象商品：K2800-1・K8800V-1
K2800K-1・K8800K-1

吐水口は、前に45° 後に30°まわります。

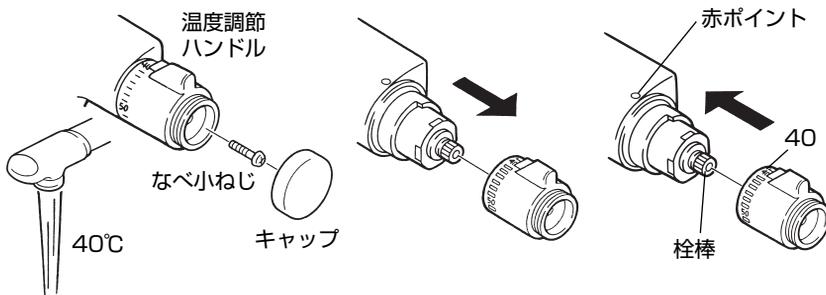


(注) 使用後は吐水口の向きを downward に戻しておいてください。

器具の温度調整方法

器具は出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の調整を行ってください。

- 1 温度調節ハンドルのキャップ、なべ小ねじをはずし、目盛と関係なく吐水温度が40℃になるようにまわしてください。
- 2 吐水温度が40℃になる位置で温度調節ハンドルをはずしてください。
- 3 目盛の40の文字と赤ポイントが合うように取付けてください。



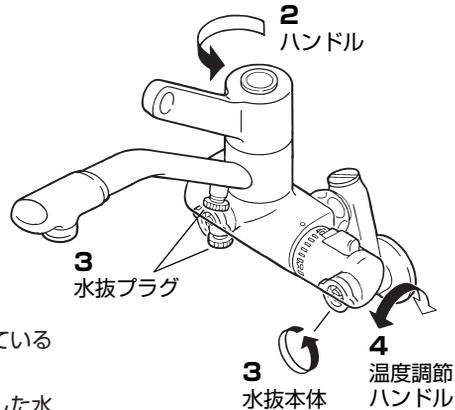
- (注) ●温度調節ハンドルを取付ける時、栓棒をまわさないようにしてください。
●目盛・数字とも目安としてご使用ください。

寒冷地用の水抜き方法

凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

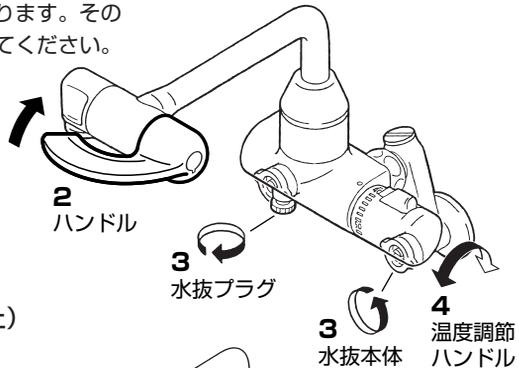
●サーモ混合栓 / サーモ混合栓(先止)

- 1 配管の水抜き栓を操作する。
- 2 ハンドルを開く。
- 3 水抜きプラグ・水抜き本体をゆるめる。
- 4 温度調節ハンドルをH側へまわして水を抜き、さらにC側へまわして水を抜く。



再使用时

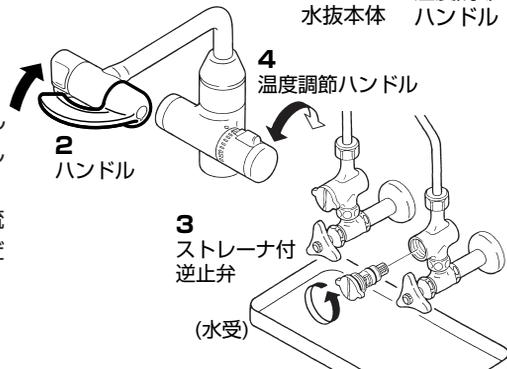
- 水抜きプラグ・水抜き本体が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。
- 水抜きをしてもストレーナの網に付着した水滴が凍り、吐水しない場合があります。その場合は、ぬるま湯をかけて温めてください。



●サーモワンホール混合栓(先止)

- 1 配管の水抜き栓を操作する。
- 2 ハンドルを開く。
- 3 ストレーナ付逆止弁をはずす。
- 4 温度調節ハンドルをH側へまわして水を抜き、さらにC側へまわして水を抜く。

- 水抜きをする時には、内部の水が流れ出ますので、水受を設置してください。



再使用时 ストレーナ付逆止弁が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。

お手入れ

●メッキ部分（金属製部品）

やわらかい布で拭き、時にはミシン油
やカーワックスを適量にしみこませた
布で拭いてください。

●樹脂部分（プラスチック製部品）

やわらかい布で水拭きをしてください。

⚠ 注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みの
おそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール
などの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど

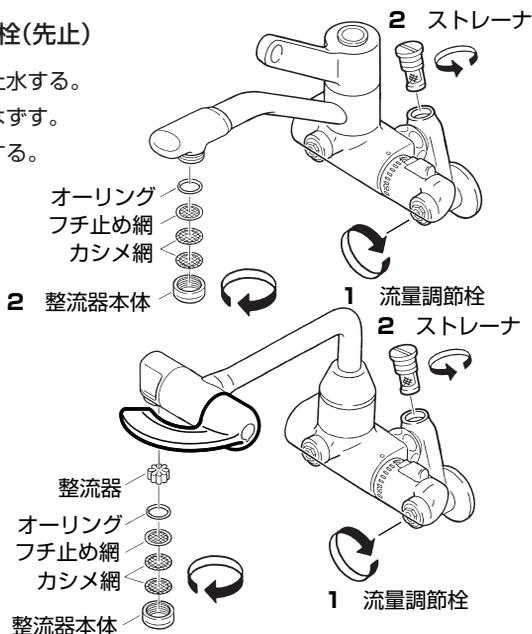
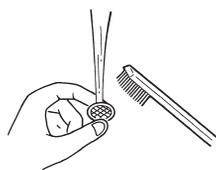


ストレーナ・吐水口の掃除

近所で水道工事があったり、長時間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

●サーモ混合栓 / サーマ混合栓(先止)

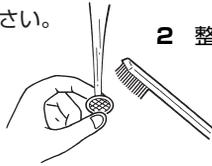
- 1 流量調節栓を右にまわし、止水する。
- 2 ストレーナ・整流器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。



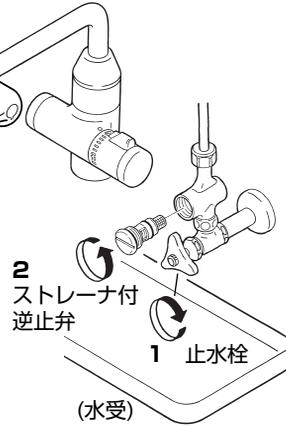
●サーモワンホール混合栓(先止)

- 1 器具への給水・給湯を止める。
- 2 ストレーナ付逆止弁・整流器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。

●ストレーナ付逆止弁をはずす時には、内部の水が流れ出ますので、水受を設置してください。



- 整流器
- オーリング
- フチ止め網
- カシメ網
- 2 整流器本体



再使用時 ストレーナ(サーモワンホール混合栓(先止)の場合はストレーナ付逆止弁)・整流器本体が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。

故障？ その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検
吐水量が少ない。	① ②
高温しか出ない。	① ② ③
低温しか出ない。	① ② ③ ④
温度調節がうまくできない。	① ② ③ ④

- ① 流量調節栓(止水栓)は開いているか。
- ② ゴミづまりは。……………参照：ストレーナ・吐水口の掃除
- ③ 温度調整は適当か。……………参照：器具の温度調整方法
- ④ 混合栓に湯がきているか。

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですが販売店(工事店)にご依頼ください。

⚠ 注意



サーモカートリッジ内部は精密加工されていますので、絶対に分解しないでください。

分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

K280D

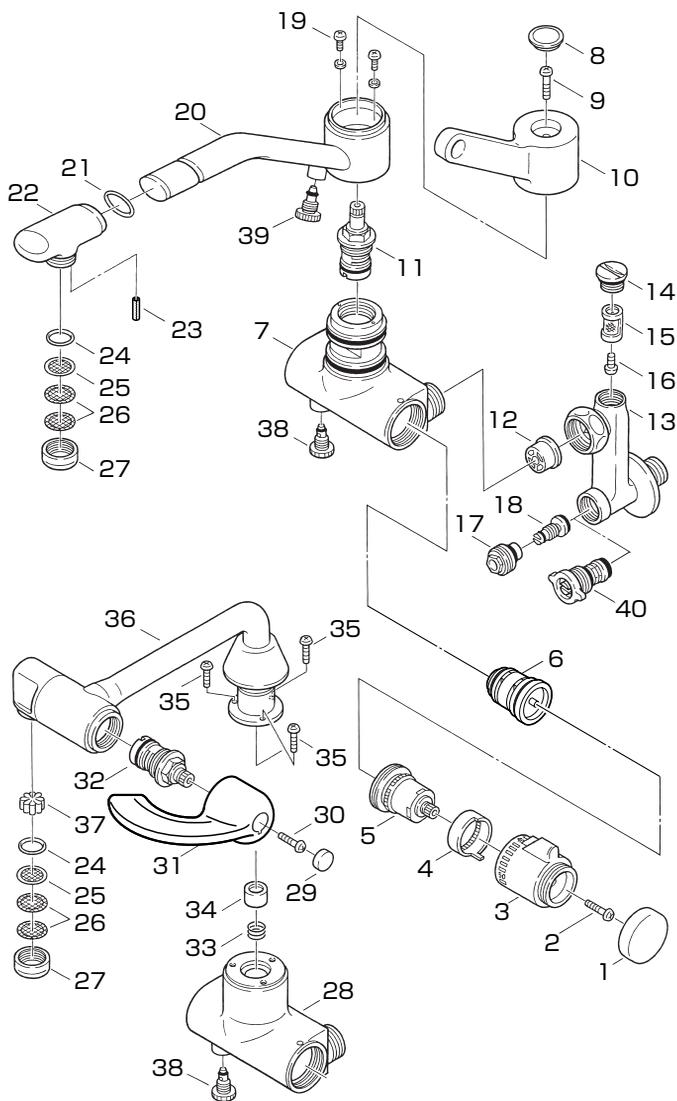
一 般 用	
1.	キャップ
2.	なべ小ねじ
3.	温度調節ハンドル
4.	ポイントガイド
5.	温調上部
6.	サーモカートリッジ
7.	胴
8.	キャップ
9.	なべ小ねじ
10.	ハンドル
11.	セラミック上部
12.	混合栓用逆止弁コア
13.	偏心管
14.	ストレーナキャップ
15.	ストレーナ
16.	なべ小ねじ
17.	逆止本体
18.	固定スピンドル
19.	セムスなべ小ねじ
20.	吐水口
21.	オーリング
22.	断熱キャップ
23.	ピン
24.	オーリング
25.	フチ止め網
26.	カシメ網
27.	整流器本体

K2800-1

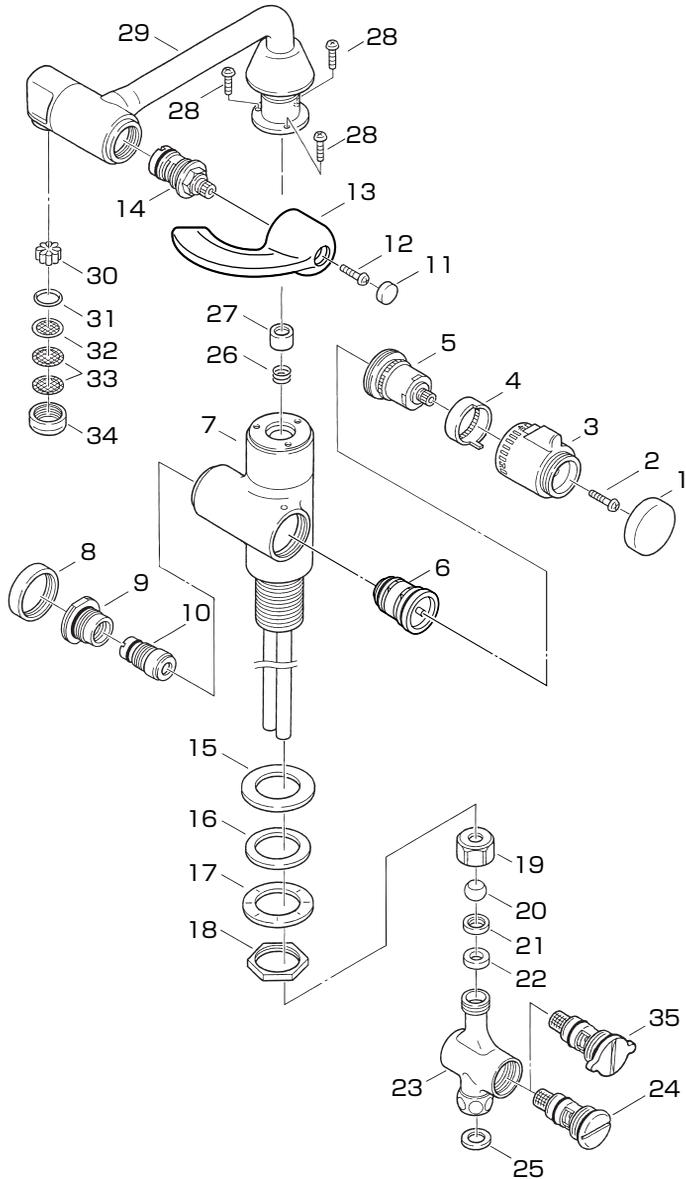
28.	胴
29.	キャップ
30.	なべ小ねじ
31.	ハンドル
32.	セラミック上部
33.	スプリング
34.	シートパッキン
35.	なべ小ねじ
36.	吐水口
37.	整流器

K280DK・K2800K-1

寒 冷 地 用	
38.	水抜プラグ
39.	水抜プラグ
40.	水抜本体



分解図



K8800V-1

一 般 用	
1.	キャップ
2.	なべ小ねじ
3.	温度調節ハンドル
4.	ポイントガイド
5.	温調上部
6.	サーモカートリッジ
7.	胴
8.	キャップ
9.	流量調節本体
10.	スピンドル
11.	キャップ
12.	なべ小ねじ
13.	ハンドル
14.	セラミック上部
15.	座パッキン
16.	パッキン
17.	菊座金
18.	ロックナット
19.	袋ナット
20.	玉
21.	玉受
22.	パッキン
23.	逆止弁
24.	ストレーナ付逆止弁
25.	パッキン
26.	スプリング
27.	シートパッキン
28.	なべ小ねじ
29.	吐水口
30.	整流器
31.	オーリング
32.	フチ止め網
33.	カシメ網
34.	整流器本体

K8800K-1

寒 冷 地 用	
35.	ストレーナ付逆止弁(水抜用)



株式会社 三栄水栓製作所

本社	〒537-0023	大阪市東成区玉津1丁目12番29号	☎(06)6972-5921
東京支店	〒136-0071	東京都江東区亀戸2丁目7番4号	☎(03)3683-7471
名古屋支店	〒458-0847	名古屋市緑区浦里3丁目298番地	☎(052)891-2201
大阪支店	〒537-0023	大阪市東成区玉津1丁目12番29号	☎(06)6972-6981
札幌営業所	〒007-0837	札幌市東区北37条東30丁目3-3	☎(011)782-5353
盛岡営業所	〒020-0846	盛岡市流通センター北1丁目6番2号	☎(019)605-7301
仙台営業所	〒983-0014	仙台市宮城野区高砂1丁目20番5	☎(022)258-6251
新潟営業所	〒950-0943	新潟市女池神明3丁目14番地4	☎(025)281-1291
さいたま営業所	〒331-0052	埼玉県さいたま市三橋4丁目322番地	☎(048)625-4741
横浜営業所	〒224-0053	横浜市都筑区池辺町2621	☎(045)929-0331
金沢営業所	〒920-0356	金沢市専光寺町ト6番地	☎(076)268-7751
京都営業所	〒612-8464	京都市伏見区中島前山町54番	☎(075)605-5761
神戸営業所	〒658-0053	神戸市東灘区住吉宮町5丁目4番16号	☎(078)843-9231
四国営業所	〒799-3102	愛媛県伊予市宮下字竹ノ宮244番地	☎(089)982-5071
広島営業所	〒731-5124	広島市佐伯区皆賀3丁目6番22号	☎(082)922-3631
福岡営業所	〒813-0062	福岡市東区松島3丁目22番27号	☎(092)621-7524
熊本営業所	〒862-0925	熊本市保田窪本町16番29号	☎(096)385-7161
沖縄出張所	〒900-0002	那覇市曙3丁目11番26号	☎(098)869-0890

☎ 日本工業規格表示許可工場

✧ 日本水道協会検査工場